

議 事 録

会 議 名	令和2年度 第2回寒川町生涯学習推進会議		
開 催 日 時	令和2年10月23日（金） 午後3時00分～午後3時50分		
開 催 場 所	寒川町民センター 1階 展示室I		
出席者名、 欠席者名 及び 傍聴者数	出席者：遠藤委員、渡部委員（会長）、山崎委員、釈氏委員（副会長）、古山委員、平本委員、森委員、吉井委員、高橋委員 欠席者：江上委員 事務局：戸村町民部長、池田協働文化推進課長、奥谷協働文化推進課副主幹、渡邊協働文化推進課主事補 傍聴者：3名		
議 題	(1)「寒川 学びプラン」令和元年度事業の評価について (2)「第2次寒川 学びプラン」（素案）について		
決 定 事 項			
公開又は 非公開の別	公 開	非公開の場合その 理由（一部非公開 の場合を含む）	
議事の経過	<p>1 開会 池田協働文化推進課長</p> <p>2 あいさつ 渡部会長</p> <p>3 議事録承認委員の指名 渡部会長、釈氏副会長</p> <p>4 議題 (1)「寒川 学びプラン」令和元年度事業の評価について（資料1） ・資料1について、事務局から説明</p> <p>【会長】それでは今お話ございました令和元年度事業報告の生涯学習推進会議評価について、事務局からの提案をもとに検討していきたいと思っております。皆様、御意見等ございましたらお願いいたします。</p> <p>【委員】この評価はどなたがしているのですか。</p> <p>【事務局】A B C Dの評価につきましては実績値に基づきまして事業担当課で評価をしております。</p> <p>【委員】自分たちで作って自分たちで評価するようなものだから、ついつい評価が甘くなるのではというふうな感じがするのですが、その点いかがですか。</p> <p>【事務局】ただいまの御質問でございます。昨年もちょうど同じ質問をお受けしております。まずこちらのA B Cの基準でございますが、こちらまず機械的に何パーセントであればこの基準だよと私どものほうで振り分けてございます。この判断基準でございますが、何パーセントであればA、幾つであればBの振り分け、機械的に振り分けますよというこの基準につきましては、私どものほうでこの会議にお諮りいたしまして皆様からお認めいただいた基準に基づいて自動的に振り分けをさせていただいております。ですから意図的に甘くですとか、辛くですとかそういうことで</p>		

はなく、あくまでも皆様から頂いた基準をもとに振り分けをさせていただいています。これに対してさらに加える意見があればいただきたいというのがこの席での趣旨でございますので御理解いただきたいと思えます。

【委員】もう1点、これはAとBで全体の何パーセントぐらいなのですか。

【事務局】資料の1ページ目に事業実施状況の概要ということで書かせていただいておりますが、こちらが全84事業ありましてA評価とB評価の合計で65事業になります。全体に対する割合が77.4%となっております。

【委員】はい、分かりました。

【会長】よろしいでしょうか。ではほか御意見等ございませんでしょうか。

ないようでしたらこれで令和元年度事業報告の評価についての審議を終わりにいたします。今後公表までの手続きとしてどのように進めていくことになりますか。事務局お願いします。

【事務局】ただいま御意見いただいた中で42ページの推進会議評価というところの部分についての御意見はございませんでしたので、この内容で推進会議評価というものを確定させていただきまして今後ホームページでの公表の手続きに入っていきたいと思えますので、よろしく願いいたします。

【会長】ただいま事務局から説明がございましたが委員の皆様それでよろしいでしょうか。

<委員了承>

【会長】また、最終的な確認段階で細かい文章表現の部分などは会長の私に一任していただけたらと思えますがよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

それではご確認いただきましたので、事務局は公表案の作成をよろしく願いいたします。

(2)「第2次寒川 学びプラン」(素案)について(資料2)

・資料2について、事務局から説明

【会長】ありがとうございます。では説明が今終わりましたけれども、委員の皆様から御意見や御質問等はございますでしょうか。特に第4章以降に関する部分ですね。

【委員】55ページの緑化推進団体の育成・活動促進で、公園や緑地、緑道の運用のあり方について町民とも協働して維持管理を行う体制とのことですが、確かに中央公園とかある程度の公園のところは整理整頓されているからきれいになっているのですが、私の見たあれでは緑道が果たしてどうなのかなと思っているのです。維持管理を実施されているかどうか。具体的にいうと倉見緑道は非常にぼさぼさで、極端な話、子どもがちょっと遊んでいて、悪い大人が中へ引き込んでしまったら道を通っても分からないような状態なのです。だからこういうようなところはやっぱり造ったのは町なのですから町で最後まで管理してもらわなければ困るわけです。今そういうようなところはあまり管理されていないような感じに受け取っているのですけどね。何かあってからでは遅いのであってね、少しこういうようなところも整理整頓して、緑道も含めて、少しきれいに管理していかなければいけないのではないかなとそんなふうに思っているのですけど、いかがでしょう。

【会長】ありがとうございます。事務局いかがでしょう。

【事務局】防犯の部分については私どもはお答えする立場にございませんので、そこは省かせていただきますけれども。緑化、公園なり、緑道なり、こちらにつきましては実は公園愛護会という制度を立ち上げまして、今年度から町のほうで地元の団体と一緒に公園の管理をやっていこうというふうな制度を始めております。おっしゃるとおり、全部が全部まだどこも団体が管理についているというわけではございませんので、始まっているところもあれば始まっていないところもあるというのは事実でございます。

今後順次、それぞれのエリアに管理団体がついていくというふうに事務局としては考えてございますので、見守っていただきたいという言葉もあれですけども、今後の推移を、ここにも体制づくりということで書かせていただいておりますので、注視していきたいというふうに考えてございます。

【委員】よろしいでしょうか。

【会長】お願いします。

【委員】今の続きになりますが、私の住んでいる所は、一之宮緑道沿いで一之宮公園の近くですが、緑道の低木をやむにやまれず地元の人が切っています。と言うのは一之宮緑道近くに相和幼稚園があります。緑道の両サイドに道がありその道が緑道をまたいでいます。車の交通量もあり見通しが悪く危険で、接触事故は何回か起きているようです。死亡事故のような大事故にはなっていないようですが。地元の方が木を切って欲しいと何度も町に話しても金が無い、金が無いで切ってくれないと言うことで、もう子ども達の安全のためだと言うことで切り始めたのですね。一之宮緑道も長いので、木を切っていた方達に補助金を出すので会を立ち上げたらどうかとの話があり今回立ち上げたようです。広さとの関係から、八角広場手前の道まで範囲が広がりました。私の所は3丁目ですが、8丁目とか他の地域の人が手の空いた時に草むしりと低木切りにきています。近くの方ではない方がやっているの、申し訳ないと思い、私を含めた何軒かは、家と接している部分の緑道の草むしりを始めました。別の話ですが緑道と家との境の木も切って欲しいと町に言っても、金が無いからと言って、いつ切ってくれるか分からないので、仕方なく切り始めた方もいます。絶えず出てくるのは、金が無い、金が無いと言うことです。

【委員】そういう実態を町としてどのぐらい把握しているのか。ある点じゃボランティアでやっているわけですよね、そうやってね。

【委員】そうですね。2年位前に、緑道沿いのツツジの枝が道の方まで伸びてきて狭くなり、自転車を通る時危険だと近所の方が枝切りをしました。町は協働という言葉を安易に使っているような気がします。お金を出しているから協働みたいな形になっていると思います。やむにやまれずにやっていることを協働と言うのは、意味が違うと個人的に思います。

それから、ちょっとよろしいですか。

【会長】お願いします。

【委員】先ほど評価が甘いのではとのことがありましたが、終わったものは計算で出るのでしかたありませんが、第2次学びプランを見ると、全部で65事業計画が出ています。現在値、これは令和元年の数値を100として、次のプランの目標値を掲げていますが、現在地より目標値を下げたのが11件、16.9%、約17%あります。現状値と同じ目標値の件数が11件で16.9%、合わせて約34%あります。目標値を低くしていると思われま。それで進めていって最後で計算すればほとんどA判定がつくと思いますが、それで本当によろしいのでしょうか。それから、現状値より少し目標値を上げ、4年間は同じの件数が24件で36.9%と一番多くなっています。それから目標値を年度ごと上げている件数は19事業で29%です。本来目標値は少しでも高めに設定し、それに向かってどうやって行こうかと考えながらやって行くものだと思いますが、その辺は事務局として、どうお考えなのかお聞きしたい。

【会長】複数点ございましたけれども、御説明をよろしく願いいたします。

【事務局】公園整備の件につきましては、先ほど申し上げましたけれども公園愛護会、都市計画課のお話でございますので、私どもは深く切り込む立場にはございません。ただお話の趣旨につきましては伝えてはおります。基本的におっしゃるとおり、協働というよりはボランティアに近いものだと私どものほうもみております。一定の金額であれば面倒見ていただくという双方の協定に基づくものでございますので、あとはもうお話し合いでやっていただくのかなというところでございます。今後恐らく今までやっていない公園もこの形でやっていくというふうに聞いておりますので、いろいろな考え方が出てくるのは当然のことだと受け止めてございますので、こちらはちょっと担当課のほうには伝えてまいります。

あと、今のお話でございますけれども、大変申し訳ございません。既に学びプランの素案のお話ではなく、その前の議題に戻ったというお話でよろしいのでしょうか。それともこれからのお話でしょうか。

【会長】いかがですか。

【委員】第2次学びプランのことで、少し先走りしたかもしれませんが、これから先4年間の目標値なので本来は高めに設定するべきと思います。目標値が低ければ当然A判定になりますよね。色々な事情があるのかもしれませんが、その辺の事情は、こちらの方では分かりません。普通に考えれば少しでもプラス、プラスと高めに目標設定していったら、それに対して皆さんが考えトライしていくのではないかと思います。34%近くは何もしなくてもA判定がつくと思われる目標値の設定はどうかと思います。

【会長】ということで今後の部分に関してお話をされていたようですね。目標値を少し下げて設定された部分の主な根拠とか理由みたいなものが今御説明願えたらよろしいのかなと思いましたが、いかがでしょうか。

【事務局】まずこの計画につきましては、最初に位置付けを説明させていただきましたとおり、最上位計画の総合計画の個別計画として策定しているというところがありまして、総合計画等の指標と整合性を合わせているという部分もございます。また、ほかの個別計画とも関連性を持ってということではほかの各事業担当課が策定している別の個別計画で持っている指標を使っている部分もあります。また、現状値確かに高く、目標値がそれより下がってしまっているという部分もあるのですが、こちらにつきましても現状値がかなり毎年度ばらつきがありまして、元年度確かに上がっているのですが、過去の平均値で現状あまり高い設定をしすぎても結局実現できないのであれば意味がないということもありますので、平均的なところをとって実質下がった目標値になっている部分もあります。また、講座の開催ですとか、開催回数というところにつきましては、講師謝礼ですとか財源的な部分もかかわってくる場所もありますので、もちろん推進していく部分であるので高い目標をどんどん上げていけるのが一番いいとは思いますが、現状値、現状実施できている回数は最低でも実施していきたいという意図もありまして、4年間同じ指標となっている部分もございます。

【会長】ありがとうございます。いかがですか。今の御説明をお聞きして。

【委員】事情は色々あると思います。納得できるものや、ちょっと怪しいと思われるものもあります。ちょっと変じゃないかと思われるものもありましたが、過ぎたことなのであえて言いません。スケジュールで進めていると思うので、また元に戻って検討することは出来ないと思います。今後の課題として事務局から各課に目標値は高く指示してもらいたいと思います。

それと、長くなってごめんなさい。事業報告のコメント欄で今後の課題となっているところがありますが、今回の計画とどうリンクしているのか。私も細かく見られなかったのですが、今後の課題と書いて、そこで終わりにしているのか引き続きその課題をクリアすべきと動いているのかが分かりません。

【会長】この点に関していかがでしょうか。

【事務局】基本的には事業実績で各担当が課題として挙げてきているものにつきましては各事業担当課でその辺は検討して進めていただいているものと考えております。

【会長】いかがですか。

【委員】と言うことは、課題とした項目は、来年あるいは再来年にどうなっているか質問しても良いと理解していいのですね。

【事務局】課題の解決に向けて取り組んではいくものと考えております。

【委員】それからもう一つ、事業担当課が重なっている事業の目標値、例えば手話なんかですが、その目標値と言うのはどうやって出していますか。手話をお願いする担当課は分かりませんが、各課で講座とかやった時にお願いしていると思うので、その件数がのっていると思ったのですが。

【事務局】各事業の実績を各担当課からあげてもらうときに一緒にいくつの事業を実施し、その中で手話通訳使ったのは何件ですかという調査を一緒にとっておりまして、その数字を積み上げてやっております。先ほども説明させていただいたとおり、現行のプランでは、例えば講座のインターネット申込というのですと、事業全体に対する実施率になっていたのですが、事業全体の中に実際は申込みが必要のないのも含まれた数の実績となっていたので、ちょっと分かりにくい指標になっていたので、今回過去集計していた積み上げの実績値をもとに指標を実数という形で掲げさせていただいております。

【委員】目標値と講座数とがアンマッチと言う事ですね。講座数とあっていないとおかしいと思います。

【事務局】そうですね。

【委員】今後は整合性をとるようにしてください。

【事務局】講座数については毎年度変わってきてしまうところがあるので、要は手話でしたら毎年何件は手話にも対応した講座を開催していますよというところで見たいという考えでおります。

【委員】分かりました。

【会長】ありがとうございます。ここまでのお話に関する部分でも結構ですし、その他何か御意見御質問等はございますでしょうか。

【委員】41、アンケートについてですね、事業をするにはアンケートが大切というようにことだと思っておりますけど、アンケートの回収率はどの程度ですかね。

【会長】お願いします。

【事務局】アンケートの回収率ということですね。こちらについてはこのアンケートについては講座開催時のアンケートですので、その講座によってアンケートの回収率は違うかとは思いますが、概ね講座なのでほとんどの方が提出していただいています。講座によって違うとは思いますが、出していただけない方は講座をやった中で1,2名とか、中にはいらっしゃいますが、もちろん全員出していただける講座もありますので、回収率自体は90%以上はいつていると思います。

【委員】いいですか。講座だとかこういうふうなお教室や何かでもって出るのは分かる

	<p>のですが、この前町民センターの合唱祭かしら、何かのときにもアンケートが入っていたのですよね。だけどそれ開いてみないとアンケートが入っているのが分からなかったのです。ですからちょっとアンケートが入っているということとか、それから筆記用具もこういう場合は持ってない人が多かった。私も実は持ってなかった。で、お隣の方に借りたのですが、そういうふうなので、筆記用具はここに用意してありますとあって、ちょっとその一言付け加えていただけたら皆さん、大勢出していただけるのではないかなと。教室の講座の場合は多分全員出してくださいと思うのですが、そういうふうなホールや何かのときのアンケートの調査の仕方をちょっとこの間疑問に思いましたので、そういうことをしていただければいいかなと思ひまして、お願いいたします。</p> <p>【会長】 お願いします。</p> <p>【事務局】 誠にありがとうございます。一言で言ってしまうと工夫と気配りというところの御指摘だと思います。こちら心にとめて今後のそのような事業につきましては声をかけていきたいというふうに思ひます。よろしくお願ひいたします。</p> <p>【会長】 ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。ほかに何かございませんようでしたらこれでこの度の議題については終了させていただきます。</p> <p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から事務連絡 <ul style="list-style-type: none"> ○次回会議 1月下旬～2月上旬ごろ開催予定。近日中に日程調整依頼。 ○「第2次寒川 学びプラン」策定スケジュールについて <ul style="list-style-type: none"> 本日の意見を受け町としてのパブリックコメント（案）を確定し、12月中旬～1月初旬にかけてパブリックコメントを実施、次回会議でパブリックコメントを受けた最終案を確認いただき、今年度中に町として最終確定予定。 <p>6 閉会 積氏副会長</p>
配付資料	<p>資料1 「寒川 学びプラン」令和元年度事業報告（案）</p> <p>資料2 「第2次寒川 学びプラン」（素案）</p>
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	<p>・渡部 幸市 ・積氏 孝浩</p> <p style="text-align: right;">（令和2年12月3日確定）</p>